

令和4年産(3年播)麦生育情報 No.4 (R4.3.23)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(次回は4月上旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成24～令和3年の平均値との比較)

期間		要素	平均気温	日照時間	降水量
2月	上旬		やや低い	平年並	平年並
	中旬		低い	平年並	平年並
	下旬		かなり低い	やや少ない	平年並
3月	上旬		低い	やや多い	かなり少ない
	中旬		かなり高い	平年並	平年並

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査(11月5日播種、3月16日調査時点)では、「農林61号」「ふくさやか」「びわほなみ」の茎数は平年より9～18%少なく、草丈は13～29%短い。葉数は「農林61号」は0.1枚多く、「ふくさやか」は0.3枚多い。「びわほなみ」は0.3枚少ない(表1、後掲グラフ)。

表1 令和4年産(3年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	2/15 調査			3/16 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
農林61号	R4年産 (平年比)	628 (86)	18.6 (81)	6.0 (±0)	628 (90)	30.4 (87)	7.8 (+0.1)
	平年値	732	23.0	6.0	696	35.0	7.7
ふくさやか	R4年産 (平年比)	518 (78)	17.6 (79)	6.4 (+0.2)	532 (82)	29.0 (80)	8.1 (+0.3)
	平年値	668	22.4	6.2	647	36.4	7.8
びわほなみ	R4年産 (平年比)	854 (90)	16.4 (66)	6.4 (-0.4)	752 (91)	30.8 (71)	8.0 (-0.3)
	平年値	946	25.0	6.8	828	43.6	8.3

※播種日は、令和3年11月5日。

※平年は平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は平成28,30年～令和3年産(平成27,29年～令和2年播)の5年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、播種量は8kg/10a。

☆3月17日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

- 3月上旬までは気温が低く、全体的に生育量は平年より小さい。特に県北部の積雪日数が多かったところでは茎数が少なく、生育は遅れている。

3 今後の管理

(1) 排水対策

- 排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行うなど、**引き続き徹底した排水促進**に努める。

(2) 融雪後追肥

- 積雪下で止まっていた生育を促進するため、融雪後に追肥（窒素成分2kg/10a）を施用する。追肥を施用した場合、実肥の施用量を調整する。
- 融雪後に追肥や穂肥を施用する場合は、地表面に溜まった融雪水を排水したのちに実施する。

(3) 六条大麦の止葉出葉期追肥（麦茶用途を除く）

- 六条大麦では、**止葉が出始めた頃（農技センター作況調査の予測では3月30日頃）に窒素成分で2kg/10a程度を4月上旬までに施用する**。施用時期が遅れると硝子粒の発生が多くなるので注意する。
- 基肥一発体系の場合は止葉出葉期追肥を施用する必要はないが、**葉色が極端に淡い場合は早急に施用する**。

(4) 小麦の実肥

○小麦の実肥は、**開花期（出穂 10 日後頃）に窒素成分で 3～4 kg/10a** 施用する。

（留意点）

- ① 3 月中旬時点で生育は平年より 1 週間程度遅れており、**出穂期は平年より遅くなること**が予測される。
- ② 3 月中旬時点では**実肥施用適期は 11 月上旬播種「農林 61 号」で 4 月下旬と予測**しているが、播種時期や地域により生育に大きな差があるので、気象予報に注意を払いながら、麦の出穂、開花状況をよく見て対応する。
- ③ **茎数が少ない（約 300 本/m²以下）ほ場では、実肥施用量を 2～3 kg/10a に減らす。**
- ④ 3 月下旬～4 月上旬に葉色が淡く茎数が少ない場合は、収量を向上させるために出穂 7 日前（走り穂が出る直前頃）に窒素成分で 2 kg/10a 程度追肥し、さらに出穂 10 日後（開花期）に 2～4 kg/10a の実肥を施用する。

(5) 赤かび病防除

○小麦（びわほなみ）および六条大麦は、**開花始め～開花期とその 1 週間後**に農薬を散布する。

○小麦（びわほなみを除く）は**開花始め～開花期**に、**二条大麦は穂揃い 10 日後頃**に農薬を散布する。農薬散布後に降雨が続く場合、雨のやみ間を見て追加防除を行う。

（留意点）

- ① 今作は生育が遅れているため**出穂期は平年より遅くなると予想**されるが、開花は出穂後の気温が高いと早まるため、出穂後の気温と開花状況を確認し、天候等に注意を払いながら適期防除に努める。
- ② 「びわほなみ」は赤かび病に弱く、「農林 61 号」より開花時期が 3～4 日早いので、**防除が遅れないよう注意**する。

【参考】麦類作況調査における出穂期・開花期・成熟期の平年値

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

	農林 61 号		ふくさやか		びわほなみ		ニューサチホ ゴールドデン	ファイバー スノウ
	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/5
基準 播種日	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/5
出穂期	4/15	4/22	4/11	4/20	4/6	4/15	3/20	4/15
開花期	4/25	4/30	4/23	4/28	4/19	4/24	—	4/22
成熟期	6/4	6/7	6/1	6/3	5/29	6/3	5/12	5/26

※平年は、「農林 61 号」「ふくさやか」「ファイバー スノウ」は 10 年間（2012～2021 年産）、「びわほなみ」は 11/5 播種が 6 年間（2016～2021 年産）、11/20 播種が 5 年間（2016、2018～2021 年産）、「ニューサチホゴールドデン」は 2 年間（2020～2021 年産）の平均値

【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

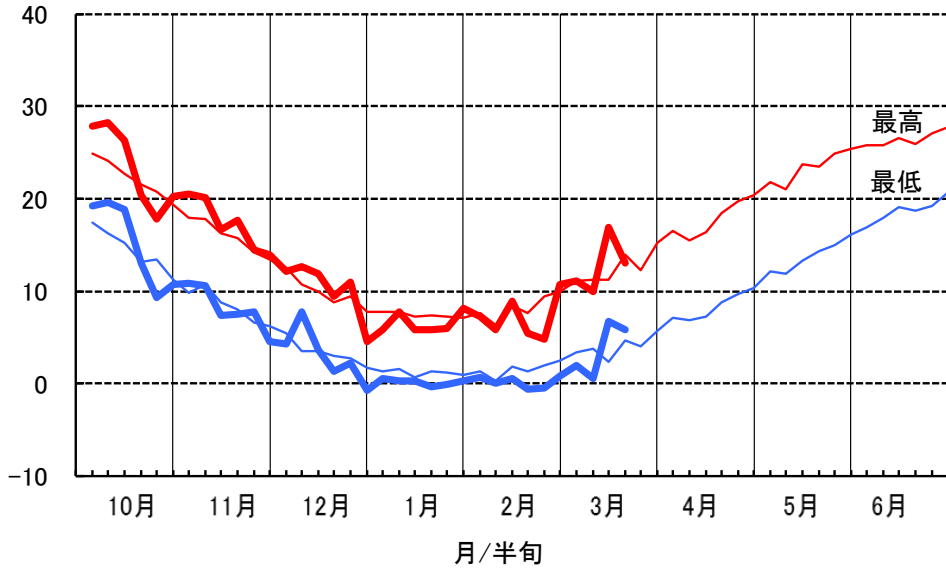
病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

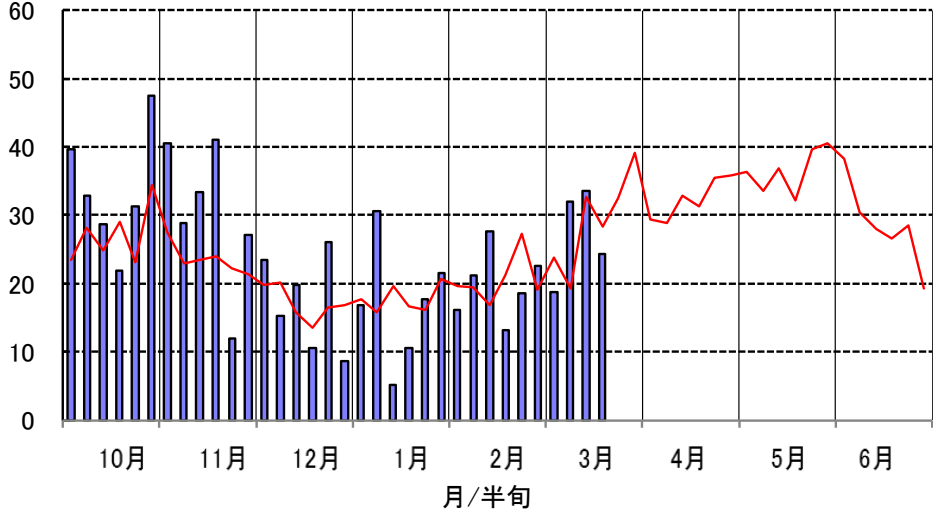
令和4年産(令和3年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(令和4年産) 折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



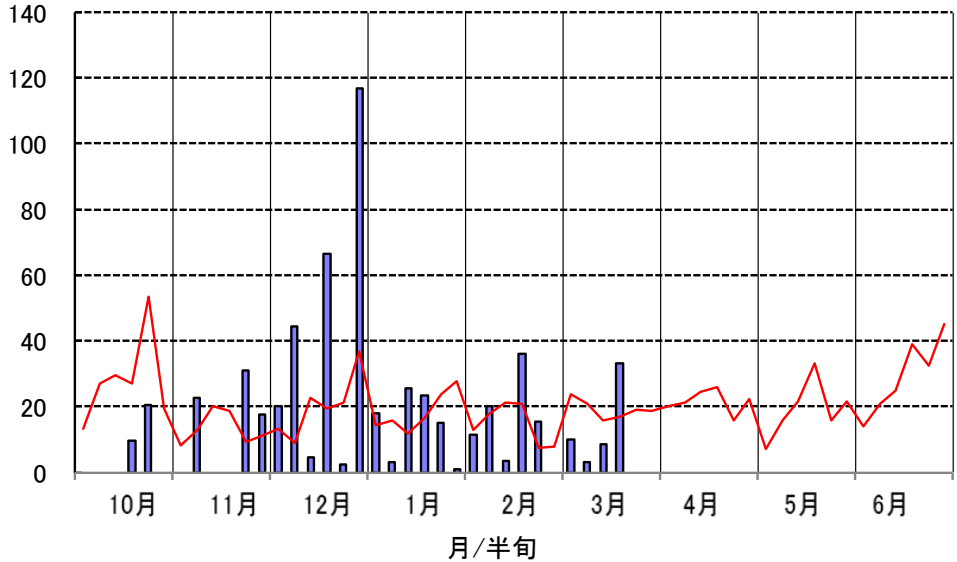
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和4年産) 折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

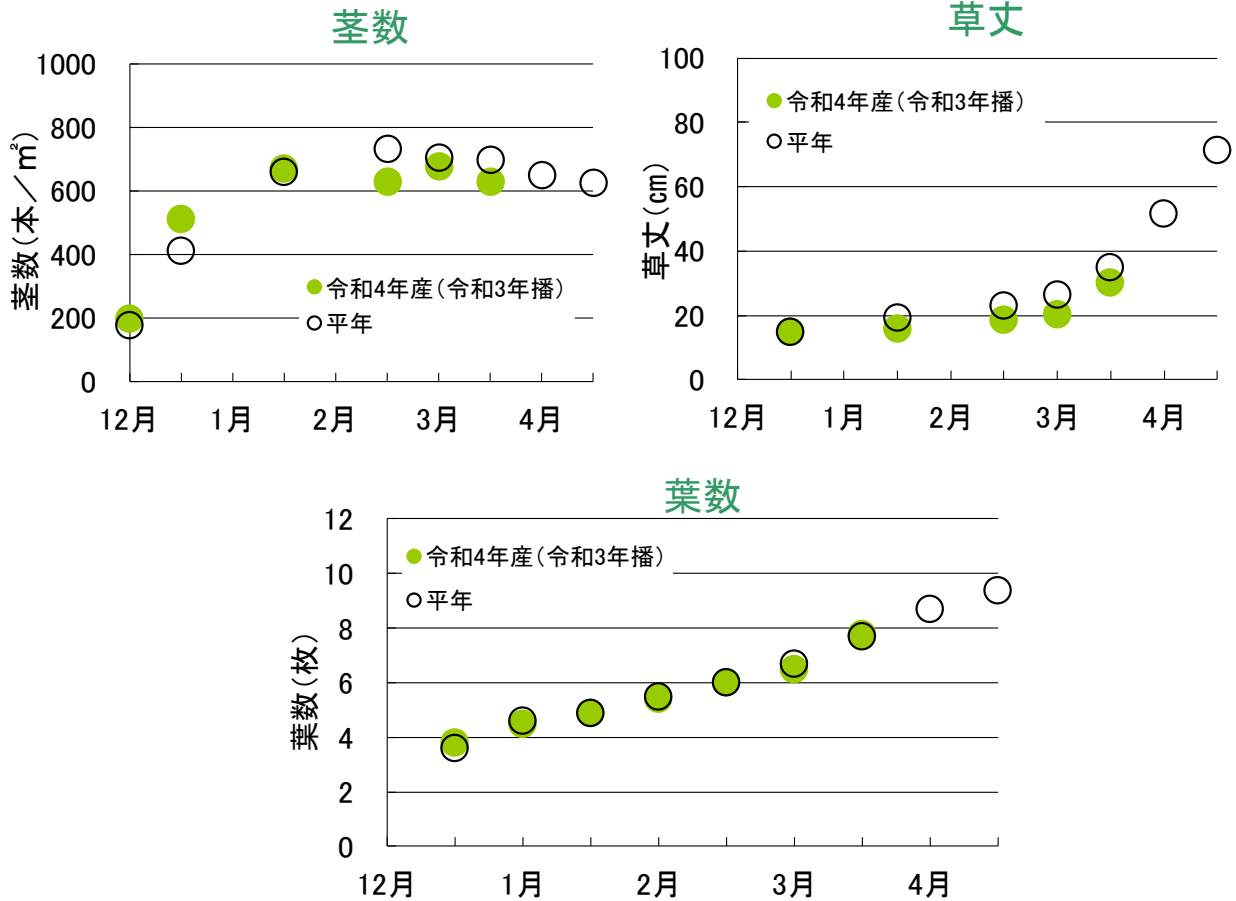
棒線: 本年(令和4年産) 折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



令和4年産生育調査結果(1)

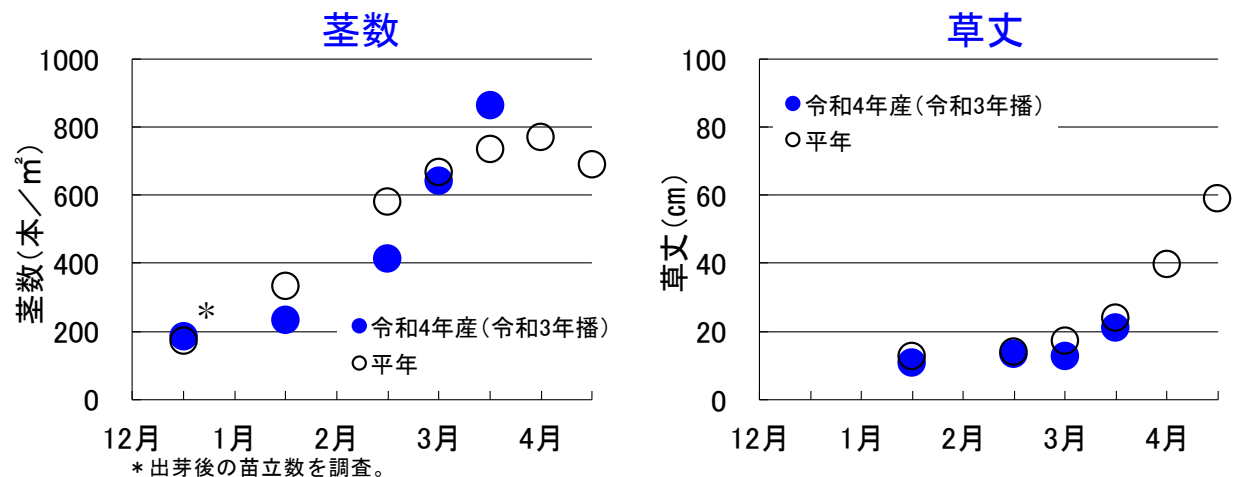
「農林61号」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播

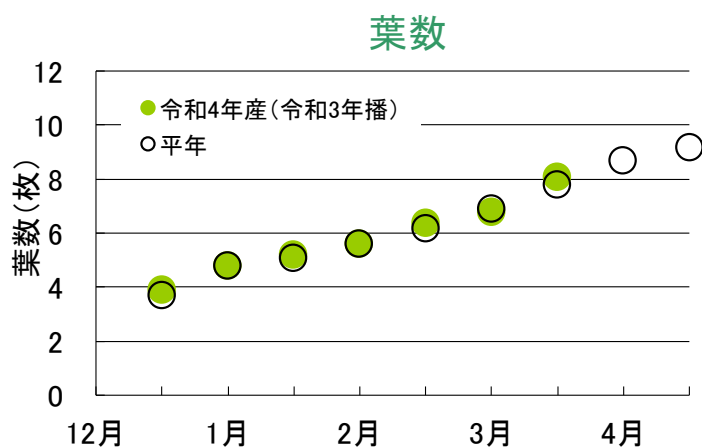
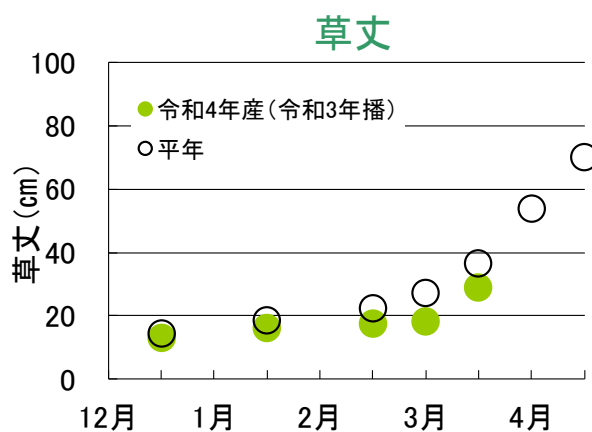
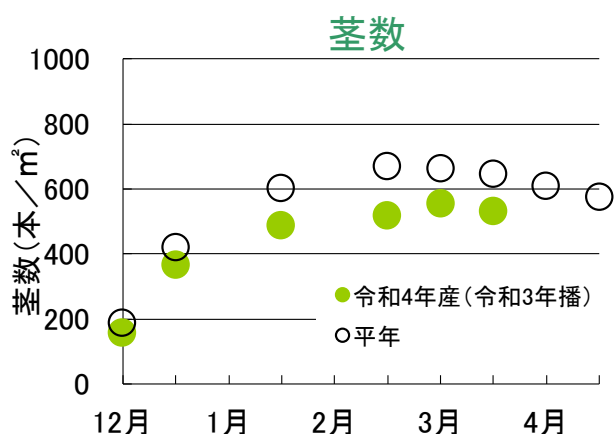


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

令和4年産生育調査結果(2)

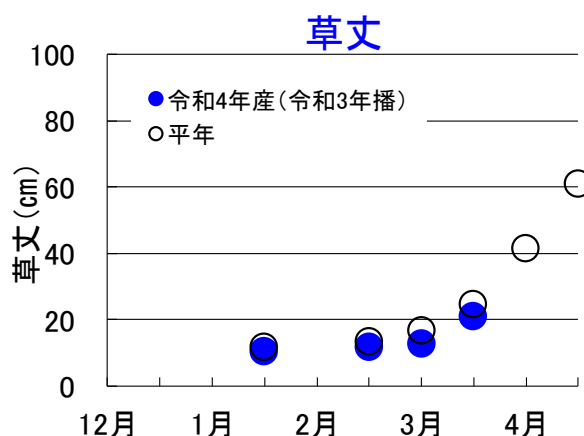
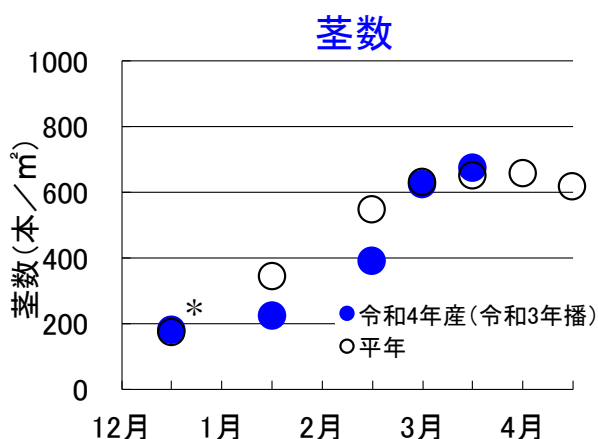
「ふくさやか」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



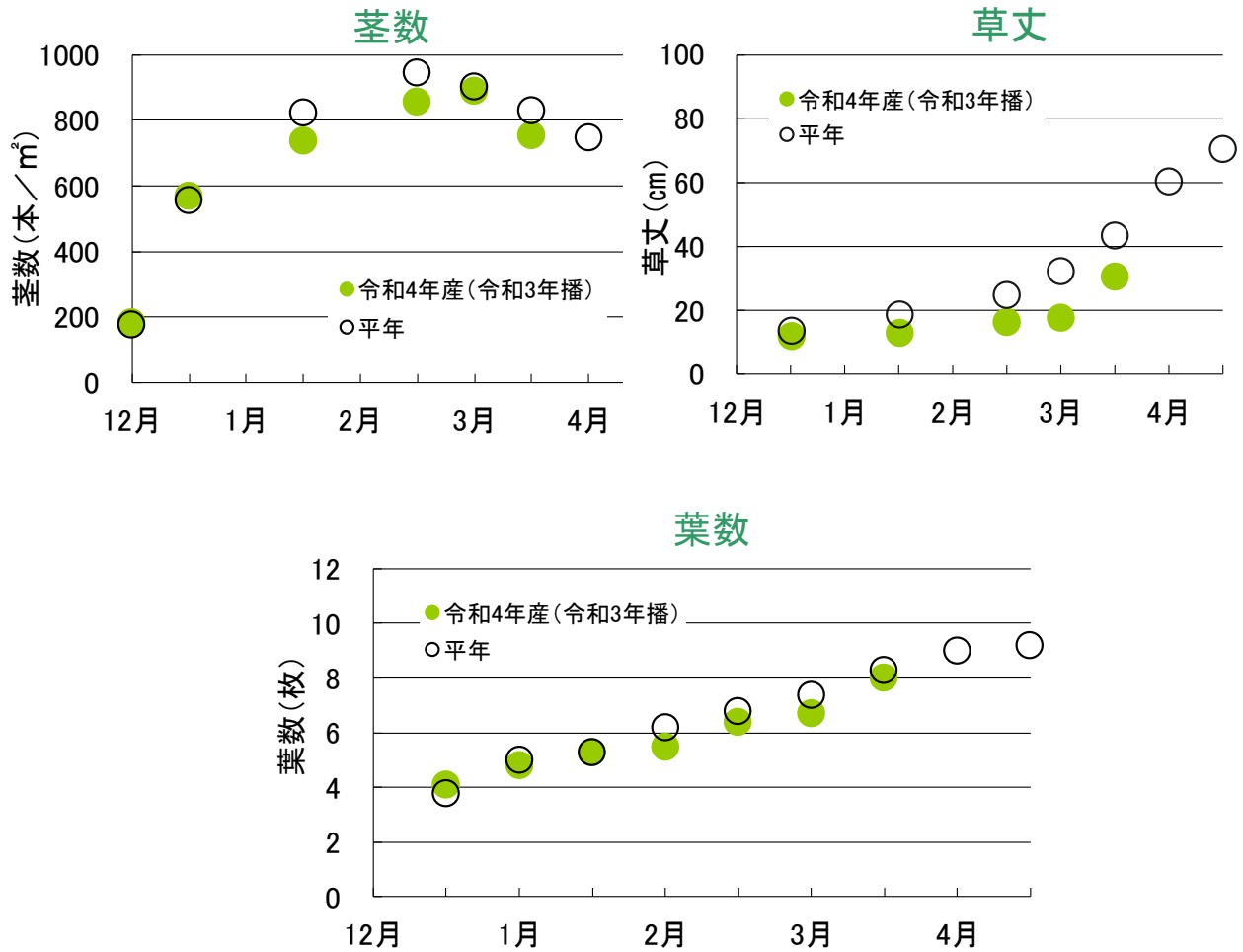
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

令和4年産生育調査結果(3)

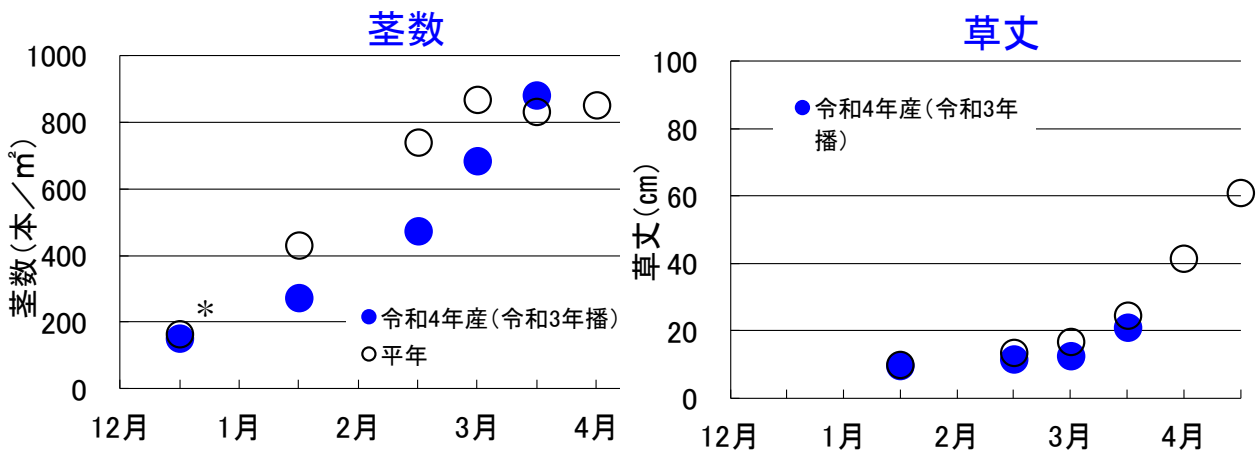
「びわほなみ」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28.30～令和3年産(平成27.29～令和2年播)の5年間の平均値。